

2022年
2月発行

第24号 宝同協だより

め ぼ 芽 生 え



編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

2021年度 ハーとん じんけん作品賞 入賞者のお知らせ

【ポスターの部】

○最優秀賞(3点)



高橋 知典さん(良元小 3年) 炭田 楓さん(美座小 5年) 宮本 柚乃さん(長尾中 1年)

○優秀賞(7点)

内堀 仁香さん(すみれが丘小 2年)・伊東 磨央さん(雲雀丘学園小 1年)・甲斐 結愛さん(小浜小 6年)
荒瀬 陽さん(中山五月台小 4年)・西馬 晴里さん(宝塚中 2年)・北村 優衣さん(南ひばりが丘中 3年)
藤田 望碧さん(市民 幼児)

【標語の部】

○最優秀賞(4点)

石本 眞子さん(丸橋小 2年) 『 えがおはね ひとりじゃできない ものなんだ 』
岡本 芽唯さん(末成小 6年) 『 だれでも だれかの 大事な だれか 』
日浦 友菜さん(長尾中 2年) 『 マスクから あふれだすほど 笑おうよ 』
前田 美知子さん(市民) 『 その言葉 書きこむ前に 考えて 』

○優秀賞(8点)

佐々木 優心さん(仁川小 3年)・上原 颯真さん(西山小 3年)・芝本 茜さん(仁川小 6年)
池田 柊真さん(長尾南小 5年)・宇山 晃平さん(宝塚第一中 2年)・道前 浩志さん(安倉中 2年)
岩山 麗子さん(市民)・中村 正博さん(市民)

【作文の部】

○最優秀賞(4点)

北山 陽人さん(宝塚第一小 3年) 『 心の段差をなくそう 』
秋山 真利奈さん(西山小 5年) 『 病気と差別 』
久保 盛太さん(御殿山中 1年) 『 便利さの裏側にみえた事 』
坂東 真帆さん(雲雀丘学園高校 2年) 『 私は私 』

○優秀賞(7点)

近森 澄晴さん(宝塚第一小 1年)・遠藤 あかりさん(長尾小 3年)・蔭山 実花さん(西山小 6年)
石塚 莉星さん(すみれが丘小 6年)・安田 琴香さん(御殿山中 2年)・粟生 莉子さん(光が丘中 3年)
杉田 莉映さん(雲雀丘学園高校 2年)

【写真の部】

○最優秀賞(1点)



萩井 ことのさん(雲雀丘学園小 5年) 『 たよれる ひ孫のせなか 』

○優秀賞(1点)

後中 賜音さん(雲雀丘学園小 2年)

※ 最優秀賞・優秀賞受賞者のみを掲載しています。

※ 佳作を含めた全受賞者は、下記の宝塚市のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.takarazuka.hyogo.jp>

【ページID:1001134】

[ホーム](#) > [教育・子ども・人権](#) > [人権・性的マイノリティ・平和](#) > [人権](#) > [宝塚市人権・同和教育協議会入賞作品](#)

第11回 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」

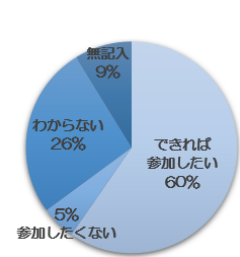
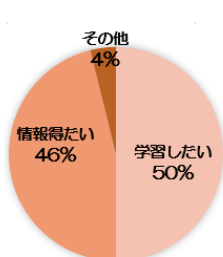
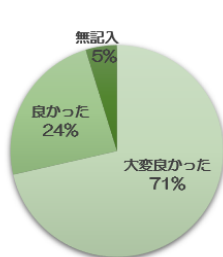
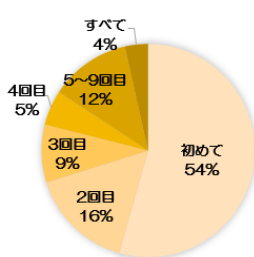
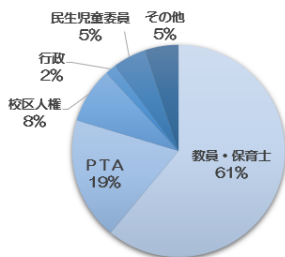
1月15日(土)に感染症対策を徹底して開催された研究大会には、89名が参加されました。全体会は学校教育課指導主事による合奏から始まり、宝同協会長からの開会挨拶と来賓の五十嵐 孝教育長、松原 昭雄阪神同教事務局長の紹介が行われました。その後4つの分科会に分かれ、報告者から貴重な実践や体験のお話を聞きました。どの分科会も参加者による熱心な話し合いと交流が行われ、多くの成果を得ることができました。

参加者のアンケート結果と感想を紹介します。



全体会の様子

参加者の所属構成は？ 何回目参加ですか？ 分科会の内容は？ 参加の目的は？ 来年も参加しますか？



① コロナ禍から「いのち」を守るより

コロナ禍のなか「正しく恐れる」「恐れずに侮らない」というキーワードは人と人とのつながりのなかで大切なことであることを痛感した。子どもたちのいのちを守ること、子どもたち同士あるいは子どもと大人との関係を築くこと、また子どもたちの体験・経験の機会をしっかりと守ること、などなどあらためて「人権」を考えることができた。



② コロナ禍と学校教育より

御殿山中学の生徒自身が考え、実践していく姿は素晴らしいと思いました。自らが考えることで、自らの問題としての主体的にとらえられる教育だと思います。自分にも新しい視点がわかりました。ありがとうございました。



③ コロナ禍での地域活動より

技能実習制度についてはテレビや情報でしか知ることが出来ていませんでした。チンさんのお話を聞いてたくさんの辛い事や困った事、大変だった事に私も胸が痛みました。コロナ禍でもあり、自分や自分の周りの事で精一杯の自分にもできる事はないか考えさせられました。



④ コロナ禍と子どもたちより

高校生のみなさんの発表を聴かせていただき、つらいことも乗り越え、やり抜き、生き生きと過ごす姿が見え、とても元気をもらいました。みなさんのお話を聴き、また明日から頑張ろうと思える人とのつながりの大切さを感じることができました。



「人権交流学びのつどい」分科会の紹介

報告者の皆様から事前にいただいた文章や、報告内容について紹介します。

第1分科会「コロナ禍から『いのち』を守る」 報告者 栗田 義博さん

この原稿は令和3年10月末に書かせて頂いています。今回やっと、緊急事態宣言が解除されました。皆様どうお過ごしでしょうか。まず私から言っておきたいのは「朝令暮改」を許して頂きたいということです。新型コロナは未知の部分も多く、変異も激しいので、先日(今日)言ったことが、次回では是正されるのが当たり前だからです。さて現在の国内感染者数は200万人弱、うち死亡者数は2万人弱。よって死亡率は1%といったところです。またワクチンの接種率は70%に達しました。今の新型コロナウイルスにはワクチンが有効と考えられますので、これで一旦収束を迎えそうです。ただし変異株が新たに出現して効果が薄れることも考えられます。ただ、4月頃のピーク時の様な医療現場での逼迫が起きない限り、有効なワクチン・治療方法が開発されていくと思われれます。そうすると、新型コロナウイルスもインフルエンザの様な扱いになってくると考えられます。3回目のワクチン接種ですが、これは有効であることは間違いありません。副作用(反応)の問題が解決されればさらに良いのですが。



ここ2、3日急に寒くなりましたがインフルエンザや風邪はどうでしょうか。一般に1つのウイルスが流行ると他のウイルスは収まる傾向にあります。少なくとも1つの細胞にウイルスが入り込むと他のウイルスは入り込めなくなります。となると、今年はインフルエンザや風邪が流行る可能性がありますね。ただ皆さんがマスク・うがい・手洗いを励行されている間は流行が防げるのではないのでしょうか。

第2分科会 「コロナ禍と学校教育」 報告者：平山 舞さんをはじめ御殿山中学校学年団の取組から
(当日報告は本分科会担当者 木村 直人)

コロナ禍を初めて体験した昨年度(2020年度)、御殿山中学校では当時の校長自作資料「亀吉君、新しい暮らしの巻」を使い、新型コロナウイルス感染症に伴う新しい学校生活のあり方を全校生が学んだ。1年生では、「亀吉君」というオリジナルキャラクターを用いた寸劇で学年に啓発し、「自分たちのまわりから差別や偏見をなくすためには」「こんな時だからこそできることは何か」と考えていった。生徒たちからは、「誰かが風邪気味になった時や咳をしている時に、『コロナか?』等と冗談でも本気でも、相手が傷つくことや悪口を言うことはみんなが気持ちよく暮らせないと思う」「コロナでも何でも関係なく、『いじめ』や『からかい』をなくすべきだと思う」などの意見や、自分の中にあった「中国」に対する偏見に気付いていく姿などがあり、自分を見つめていく良いきっかけとなった。



また、今の状況をプラスに捉えて『今しかできない』『今だからこそできる』という考えのもと、学年別に行われた体育大会でも、生徒たちは「亀吉君」をメインキャラクターにし、自分たちが考えた種目やルールで自主的に体育大会を作りあげた。コロナ禍というマイナス状況の中で、仲間や人を思いやる気持ちを大切にすることをめざした自主的な活動をやり切った生徒たちは、実行委員の生徒だけでなく参加した全ての生徒が大きく一歩成長したと感じた。

第3分科会「コロナ禍での地域活動」 報告者 ホアン ティ キエウ チン さん

5年前、実習生として日本に来ました。2020年4月に契約が終わってベトナムに帰るつもりでしたが、コロナの影響で飛行機が止まり、帰れませんでした。荷物を全部準備して家族にもうすぐ会える気持ちを持っていたのがっかりしました。契約は終わっているので仕事もできない、ビザが発行されるまで時間がかかりました。2か月仕事が無く家で待つしかない。どこにも行けません。2か月ずっと家で待ちました。その時「きすなの家」の先生達から連絡があっていっぱい手伝ってもらいました。食べ物とかお金とか…。それに先生は私の話を聞いてくれました。寂しく無くなりました。



今年もコロナはまだ落ち着いていないのでまだ帰れません。仕事で忙しい毎日です。休日は買い物以外どこにも行きません。以前、休みの日は日本人の先生と一緒に日本語を勉強したり、生活のことを話したり、うれしいこととか寂しいこととか全部先生に話せました。それは私のストレス対処法です。でも、今は周りにコロナに感染した人がいるので日本語のレッスンはやめました。友だちに会えなくてほんとに寂しいです。最近、会社でコロナ感染者が増えていて入院した人もいます。コロナを心配している人が休むこともあるので、全然人手が足りません。毎日6時から9時まで残業して、休みの日も出勤しないといけません。ワクチン接種をしたときは体が弱くなって仕事が大変でした。でも頑張ります。

第4分科会「コロナ禍と子どもたち」 報告者 荻田 暖和さん 尾崎 美梨さん 竹原 蒼依さん
三木 優香さん 美濃岡 彩希さん(長尾中学校卒業生)

私たちは、ソフトボール部に所属し、3年間、みんなと喧嘩したり、ぶつかったり、たくさん悩みましたが、春の県大会という大きな目標へ向かって練習に打ち込んできました。2年生の1月には、県大会をかけた試合で優勝し、念願の県大会出場を決めることができました。喜びと感動、チームには一体感が生まれ、そして県大会へ向けてもっと頑張ろう!とみんなで意気込んでいました。しかし、3月の学校閉鎖になり県大会はあっけなく中止になりました。コロナの前に大会が一瞬でなくなってしまう恐ろしさに絶望しました。6月になって、ようやく練習が再開されましたが、満足な練習ができないまま夏の大会を迎え、力を出し切れず負けてしまいました。私たちの3年間は何だったのか、コロナがなければ、もっと練習できれば、どこにぶついたらいいのかわからない悔しさと苛立ち、もっと練習しておけばよかったという後悔、様々な思いがこみ上げてきました。しかし、誰のせいでも、誰が悪いのでもない。そんな中で、大切なことに気づかされました。それは「当たり前」のありがたさでした。一緒に泣いたり、笑ったり、励まし合ったりできる仲間、そして毎日の練習、失って初めてそのありがたみに気づくことができました。そして「今」という瞬間を大切に過ごしていかなければいけないと教わりました。高校生になった今、感謝を大切にしながら、これから精一杯頑張っていきたいと思っています。



※研究会当日は、部活動以外にも、コロナ禍での「修学旅行」や「体育大会」の経験についても報告がありました。

連載

夢と希望はいつの間にか

②1風の電話

会えなくなった愛する人や大切な人ともう一度、言葉を交わせる電話があることをご存じですか？

それは、岩手県大槌町の佐々木格（いたる）さんの自宅敷地内にあります。昔懐かしい黒電話の置かれている電話ボックスは真っ白で、入口ドアの上には『風の電話』と表示されています。

いとこを亡くして悲しむ親族の気持ち癒すために、佐々木さんが中古の電話ボックスを譲り受け、2011年3月の震災直後に自宅の庭園内に設置されたものです。このことを聞きつけられた震災被災者の方々が次々と訪れられ、佐々木さんは受け入れられるようになりました。

電話線が繋がっていない黒電話でそっと話されながら涙されている人、電話機の横に置かれているノートに思いを綴られる人たち・・・もう7冊を超えたといわれます。その一ページです。

「娘と結婚して私たちの息子となって『おかあさん』と呼んでくれる日を心待ちにしていました。息子となって初めての母の日にプレゼントを手渡された時はホントに嬉しかった!! でも、恥ずかしがりやの○○くんから『おかあさん』とは言ってもらえず、来年の母の日に・・・と期待していました・・・でも、3月のあの震災で帰らぬ人となり、『おかあさん』と呼んでももらえぬままになってしまいました。空の上では楽しく過ごしているのかな？ いつか、空の上から私に聞こえるように『おかあさん』と呼んで下さいね!! あなたは、いつまでも私たちの息子です。」

今では被災者の方たちは3割くらいで、事故、自死、病気などで残された方たちが多くなっているとのこと、また、海外でも紹介されて外国人訪問客も増えたそうです。

当初の木製の電話ボックスは腐食が進み、18年には寄付金でアルミ製になっています。

この話を孫たちになると「その話、知っている」と言うのです。聞いてみると学校で習ったようで、「やまのうえ」一だいでんわがおいでありました」で始まる『かせのでんわ』というお話です。お話のラストは「とどいたんだ！ みんなのおもいがとどいたんだ！」で結ばれています。

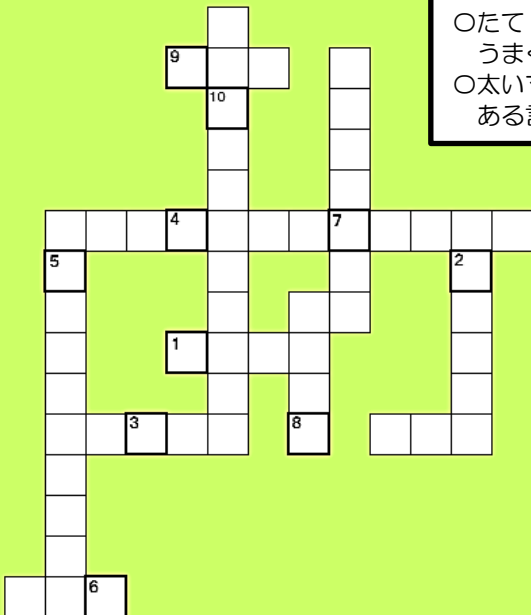
私たちはどんなに苦しくても、悲しくても「夢と希望」を持ち続けていければ願いは必ず届く社会であってほしいと願うばかりです。【和久】



芽生えパズル

<スケルトンパズル>

- たて・よこのマス目に下の文字をうまくあてはめます。
- 太いマス目に入った文字を並べ替えてある言葉にします。（答えは下にあります。）



- 12字 こどものけんりじょうやく
- 11字 せかいじんけんせんげん
- 10字 こころのバリアフリー
- 7字 エスティジーズ
- 6字 やればできる
- 5字 リンカーン
- 4字 だんらん かんしゃ
- 3字 なかま ルール ハート
- 2字 かず

パズルの答え

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

【川崎】

街角風景



雪化粧



霜柱

【平松】

編集後記

今年度の「ハートんじんけん作品賞」も素敵な作品ばかりで、たくさんの優しさや笑顔に触れました。「人権交流学びのつどい」にも様々な立場の方に集まっていただき、コロナ禍だからこそその気づきや学びがあったのではないのでしょうか？大変な時ではありますが、こんな時だからこそ、皆様の元に明るく温かい気持ちを届けられる様な内容をめざせたらと思います。【平松】

宝同協だより「芽生え」編集委員

- 平松 友紀・菅 理香・津國 千恵子・中野 恵子
- 川崎 功児・井本 浩文・頼重 優・池澤 径子
- 和久 有彦・美除 浩・荻野 雅憲・加藤 謙太
- 中田 公平

いずみりつこのゆきと ぞん